

平成15年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿
(五十音順)

[個人]

おぐら ひろし
小倉 弘 (青森県弘前市)
しみず しげお
清水 繁雄 (長野県木曾郡木曾福島町)
たかなみ
高波 ハツヨ (新潟県東頸城郡安塚町)

[団体]

かぶしきかいしゃ あきたこうじょう
エス・オー・シー株式会社 秋田工場 (秋田県能代市)
かき もり した かい
牡蠣の森を慕う会 (宮城県本吉郡唐桑町)
かしましぎよぎょうきょうどうくみあい
鹿島市漁業協同組合 (佐賀県鹿島市)
かみとちくぼどうろあいごかい
上柘窪道路愛護会 (福島県相馬郡鹿島町)
きゅうしゅうもりしぎょうかぶしきかいしゃ くまもとじぎょうしょ
九州森紙業株式会社 熊本事業所 (熊本県鹿本郡植木町)
さくまちしょうこうかいせいねんぶ
佐久町商工会青年部 (長野県南佐久郡佐久町)
しやだんほうじん おおさか もりぐちしぶ
社団法人 大阪エイフボランティアネットワーク守口支部 (大阪府守口市)
たかせうらかわすじ あい かい
高瀬裏川筋を愛する会 (熊本県玉名市)
とくていひえいりかつどうほうじん はな
特定非営利活動法人 花つぼみ (和歌山県田辺市)
はしのしんりんあいごしょうねんだん
橋野森林愛護少年団 (岩手県釜石市)

[学校]

いなさちょうりつしぶかわしょうがっこう
引佐町立渋川小学校 (静岡県引佐郡引佐町)
おかざきしりつやはぎにししょうがっこう
岡崎市立矢作西小学校 (愛知県岡崎市)
おきなわけんりつやえやまようごがっこう
沖縄県立八重山養護学校 (沖縄県石垣市)
ちばけんりつもばらのうぎょうこうとうがっこう
千葉県立茂原農業高等学校 (千葉県茂原市)
にしなすのちょうりつおおやましょうがっこう
西那須野町立大山小学校 (栃木県那須郡西那須野町)
みやぎけんこごたのうりんこうとうがっこう
宮城県小牛田農林高等学校 (宮城県遠田郡小牛田町)
むつみそんりつ ちゅうがっこう
むつみ村立むつみ中学校 (山口県阿武郡むつみ村)

[地方公共団体]

えさしちょう
江差町 (北海道檜山郡江差町)
かくだしにしねよんくぎょうせいく
角田市西根4区行政区 (宮城県角田市)
たけふし
武生市 (福井県武生市)
なごやし
名古屋市 (愛知県名古屋市)

[個人]

氏名	<p>おぐら ひろし 小倉 弘</p>
住所	<p>青森県弘前市</p>
功績の概要	<p>同氏は平成2年から約13年間にわたり、地域に所在する2公園（宮川第4児童公園及び宮川第5児童公園）の保全、美化活動を行っている。</p> <p>保全・美化活動として、週2～3回継続して園内のゴミ拾いや草木の手入れ、除草作業を行うなど、活動は多岐に渡っている。特に園内の清掃活動については、投げ捨てるの絶えることがない吸い殻や空き缶などの回収を、根気強く、地域住民の先頭に立ち率先して行っている。</p> <p>また、両公園は市内中心地に近く、幹線道路が整備され、大型小売店が立ち並ぶ都市空間に所在しているが、同氏の継続的な活動により、その中の貴重な緑が保全され、潤いのある空間として、付近住民のみならず、多くの市民に喜ばれ利用されている。</p> <p>さらに、公園の保全・美化活動のほかにも、公園と連結している遊歩道の清掃活動など、様々な活動に率先して精力的に取り組み、地域の緑地保全活動に大きく貢献し、その活動内容は、地域住民の中でも他の模範になるものである。</p>

[個人]

氏名	<p>しみず しげお 清水 繁雄</p>
住所	<p>長野県木曾郡木曾福島町</p>
功績の概要	<p>同氏は、県の指導林家として、又、地域おこし活動のリーダーとして、バイタリティー溢れる活躍によって地域の緑化意識の高揚等に貢献してきた。</p> <p>同氏は、昭和47年に『15日会』を立上げ、集落の里づくりについて話し合い、『子供達に故郷を誇れる村を作ろう』と集落全体にシバザクラを植えた。昭和57年に地区を襲った洪水害によりその多くが駄目になってしまったが、同氏は周囲の人々を励まし、シバザクラを植え続け、現在『シバザクラの里』と呼ばれるほど美しい景観を持つ地域となった。</p> <p>同氏の活動を通じ、地元の集落のみならず、地域おこしの動きが広がっている。『15日会』を手本に平成2年には黒川地区全体でつくる『黒川むらづくり協議会』等が活動しており、同氏は後進の指導にあたっている。シバザクラの植栽運動も町内の八沢地区、中畑地区などにも広まっている。</p> <p>現在は国道361号線沿線12キロメートルを花木で飾る夢をかなえるために、地区全戸から寄付金を集め、ライラックやハナモモなどを植栽する『国道花街道作り』を展開中である。</p>

[個人]

氏名	<p>たかなみ 高波 ハツヨ</p>
住所	<p>新潟県東頸城郡安塚町</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和54年頃からスイセン、コスモス、ハナショウブ、シバザクラ等の栽培を始め、所有する山を花畑として整備し、地域の人たちの目を楽しませ、生活に潤いをもたらしてきた。</p> <p>豪雪地帯である安塚町に適した宿根草の試験栽培や、ハナショウブの品種改良、様々な草花の栽培の指導など町の花作りアドバイザー、インストラクターとして活躍している。</p> <p>また、安塚町で昭和60年に始まった花いっぱい運動では指導的役割を担い、同町の全長20キロメートルに及ぶフラワーロードに植栽されているヤナギバヒマワリの普及に際しても、中心となって株分け・播種に努めてきたものである。</p> <p>さらに、同氏所有の花畑に地元安塚小学校児童が毎年訪問し、「花を育てる楽しさや、大切さ」、そこに住む生き物について学んでいる。</p> <p>このように24年に及ぶ緑化美化活動や自身の体験活動を通じて花と緑のまちづくりの大切さを子供たちに教えるとともに、町内外の花愛好者の皆さんとの交流を積極的に展開している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p style="text-align: center;">かぶしかいしゃ あきたこうじょう エス・オー・シー株式会社 秋田工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>秋田県能代市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役社長 蟻川 浩雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、平成5年操業開始のヒューズ及び関連電気部品製造工場で、「地球に優しく、限りある緑を大切に」をモットーに、植栽パターンの工夫や粘り強い緑化作業により日本海からの強風による冷害、雪害等緑化環境の厳しさを克服し、積極的に緑化に取り組んでいる。</p> <p>年間を通じ緑の確保を図るため、地元能代市の市木である黒松を敷地周辺部に約3,500本も植樹しているほか、道路側にはフェンスを設けずに能代市の市花であるハマナスを植栽し、従業員のみならず通行者の目を楽しませている。</p> <p>敷地内では、四季折々の風景が楽しめるよう、落葉高低木約4,000本や季節感のある花々を植樹し、変化に富んだ工場緑地を創出している。</p> <p>また、ハマナスが実る時期やさくらの開花時期には地元住民へ工場緑地を開放し、地域住民から好評を得ている。</p> <p>さらに、継続して緑地面積を拡大させるなど、同工場の諸活動は地域に密着した緑化の推進や地域コミュニティの活性化に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>か き もり した かい 牡蠣の森を慕う会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>宮城県本吉郡唐桑町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代 表 畠山 重篤</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同団体は、気仙沼地方で牡蠣を養殖する漁師たちを中心に構成され、遠くはなれた森がそこを流れる川を介し海の沿岸生物を育むということに着目して、平成元年から気仙沼湾に注ぐ大川の源流にある岩手県室根村の山々でブナ、トチ、ナラなどの落葉広葉樹約50種の植樹「森は海の恋人」活動を毎年継続的に実施している。</p> <p>また、植樹活動をとおして川上、川下住民の交流も図られるようになり、この継続的な「森は海の恋人」植樹の活動は、森づくり、地域づくり、環境学習と各方面において大きな貢献を果たしてきた。</p> <p>さらに、同団体では、“子供たちへの環境教育の重要性”を認識し、体験学習を通じた様々な企画を実施してきた。これまでに県内外の5,000人を超える子供の参加があり、牡蠣養殖の現場に触れる等の体験学習から森づくりの効果や自然環境の保護についての知識を得る良い機会となっている。</p> <p>宮城県から始まった「森は海の恋人」という植樹運動は県境を越え全国に拡大し、現在28道県の漁協で漁民による植樹活動を行うまでになった。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かしましぎよぎょうきょうどうくみあい 鹿島市漁業協同組合</p>
<p>所 在 地</p>	<p>佐賀県鹿島市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表理事組合長 中島 敏男</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同組合は、平成7年3月に鹿島市の4漁協が合併したことを契機に、鹿島市有林及び国有林を「海の森」と称して、クヌギ、ケヤキなどの広葉樹を中心とした植林や下刈りによる森林づくりを行っている。これまで約11.2ha、約3万3千5百本の苗木を植林している。</p> <p>当時、平成6年の希にみる少雨と猛暑が引き起こした水不足により全国各地で渇水問題が深刻であったときにおいても、鹿島市民の生活に支障を及ぼさないほど、豊富な水を供給している森林に、改めて上流の森林の大切さ、森林整備の大切さを再確認させられ、平成7年以降、毎年3月に「海の森植樹祭」を行っている。</p> <p>また、平成8年3月からは、組合関係者のみならず、鹿島市民（老人会、森林ボランティア等）にも呼びかけ、上下流域の住民一体となった市民参加型の森林づくりを行っている。</p> <p>さらに、平成13年3月に全国森林組合連合会との連携により、他県からも多くのボランティアが森林づくりに参加するなど、全国に向けた緑化の普及啓発の情報発信基地としての役割も果たしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かみとちくぼどうろあいごかい 上栢窪道路愛護会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県相馬郡鹿島町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>上栢窪行政区長 紺野 廣頭</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、「豊かな心」、「生きる喜び」を合言葉に、地域づくりの一環として、昭和53年より地区を縦断する県道草野大倉鹿島線の路肩や公園等にサルビアとマリーゴールドを植栽し、2.1kmにわたるみごとなフラワーベルトを構築するなど、緑化推進運動の模範となっている。</p> <p>その管理として、路肩除草、空き缶ゴミ拾い等を積極的に実施し、道路管理の経費節減にも貢献している。このため、花作りから植栽、除草清掃美化まで一貫して行えるよう、地区のボランティア組織との協力体制を確立している。</p> <p>また、平成13年8月には住民参加型の道路美化作業の模範として、県内で二番目の道路養子縁組制度（アダプト・ロード・プログラム）に関する合意書に調印を行い、道路管理者が行う管理レベルに比べ、よりきめの細かい道路緑化を実践している。</p> <p>さらに、サルビアとマリーゴールドの植栽は、県内から研修に訪れる団体もあり、他の団体の手本となっている。また、開花の最盛期には見事なフラワーベルトとなった植栽を見に訪れる人も多く、道路愛護及び緑化推進の啓蒙にも貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>きゅうしゅうもりしぎょうかぶしかいしゃ くまもとじぎょうしょ 九州森紙業株式会社 熊本事業所</p>
<p>所在地</p>	<p>熊本県鹿本郡植木町</p>
<p>代表者</p>	<p>代表取締役社長 藤定 輝好</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同事業所は、昭和49年操業開始の段ボール及び段ボール箱製造工場で、同社社長が構想していた「緑豊かな工場」の実現第1号工場として、敷地全面への芝生の植栽や計画的な土壌改善等によりシラス台地という悪条件を克服し、桜、梅、竹、柿等の様々な樹木等による豊かな緑化空間を創出してきた。</p> <p>本工場では、敷地周囲には柵を設置せず、樹木等で取り囲み、特に国道に面した箇所には、菜の花、ひまわり、コスモスといった四季折々の花を植栽し、周辺景観の向上に大きく寄与している。</p> <p>また、周辺住民のための公園的スペースを確保するという配慮のもと緑地整備を進め、地元老人会の花壇設置、地域幼稚園、小学校の遠足受入れ等、年間を通じて周辺住民へ緑地を開放している。</p> <p>さらに、地元自治体の主催する花いっぱい活動に積極的に協力し、地元住民に対し花の苗や種子の提供等を行っている。</p> <p>このように、同事業所の諸活動は地域に密着した緑化の推進や地域コミュニティの活性化に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>さくまちしょうこうかいせいねんぶ 佐久町商工会青年部</p>
<p>所 在 地</p>	<p>長野県南佐久郡佐久町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>佐久町商工会青年部長 高見澤 義光</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同青年部は、昭和55年から「花いっぱい運動」に取り組み、子や孫までにも手渡せる誇りある郷土づくりを目指して、町内を花でいっぱいにしたいという希望から生まれた事業を行ってきた。</p> <p>同町は長野県の東部に位置し、8割以上が山林原野で占め、中央部を千曲川が南北に貫流している。同町の主産業は農業で、水稻のほか菊を中心に、カーネーション、バラ、アルストロメリアなどの花卉栽培が盛んで、全国に出荷されている。</p> <p>平成11年から、国道141号沿いの遊休地を借受けた土地を耕作整備し、花苗は佐久町から提供してもらい、約600㎡の土地に花を植栽している。</p> <p>平成14年の活動として、5月には約30名の参加により土おこし及び花の植樹を行い、6～9月には約55名の参加によりゴミ拾い及び草取り・水やりを行い、10月には翌年に向けた整備・清掃を行うなど年間を通じた緑化・美化・清掃を行った。</p> <p>これら事業により国道を通るドライバーの目を楽しませると共に、地域住民の環境美化に対する意識高揚に努めている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>しゃだんほうじん おおさか 社 団 法 人 大 阪 エ イ フ ボ ラ ン タ リ ー もりぐちしぶ ネ ッ ト ワ ー ク 守 口 支 部</p>
<p>所 在 地</p>	<p>大阪府守口市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>支部会長 樋口 ミツ子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同支部は、「健康で明るく住みよい地域社会の実現」を目指し、昭和29年9月に結成され、現在会員数5,500名で組織されている。</p> <p>(社)大阪エイフボランティアネットワークでは、「エイフ環境づくり運動」の一環として、『公德心の高揚と環境美化運動』を推進しており、同支部においても、毎月24日の「清掃の日」を中心として、地区ごとに、公園・道路・駅前・ターミナル等の清掃活動、街路樹の除草、花壇手入れ、および除草等を行っている。</p> <p>また、活動1回あたりの参加人数は約30名で年間15回程度の環境美化運動を実施している。</p> <p>さらに、毎年11月上旬に開催される「市民まつり」でチューリップの球根300株を無料配布し、市内の緑化推進に貢献している。</p> <p>その他、『瀬戸内海をきれいにする運動』として、府民へ河川へのゴミ不法投棄防止の啓発運動並びにパトロールを行うほか、淀川河川敷、堤防等の清掃活動等を随時実施している。平成13年度は延べ1,638人の会員が活動に参加した。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>たかせうらかわすじ あい かい 高瀬裏川筋を愛する会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県玉名市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 猿渡 洋悟</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、平成2年4月より活動を始め、現在会員数500名で組織し、菊池川の堤防及び高水敷、裏川の菖蒲園並びに遊歩道等の除草、清掃等を行っている。</p> <p>菊池川支川裏川は、国道208号高瀬大橋の上下流約600メートルにおいて本川と併走し背割堤となっており、裏川の流れる玉名市高瀬は鎌倉時代後期よりこの地の経済や海外貿易の発展に伴い発達した。</p> <p>近年、地元商店街が高瀬の「町おこし」のひとつとして高瀬の「表と裏の町づくり」に取り組み、その中で高瀬の町の裏側の流れの整備を行ってきた。</p> <p>同会が河道内に植栽した6万5千本の花菖蒲は、昔の石垣堤とマッチした潤いのある河川景観を呈している。毎年6月には花菖蒲祭（コンサート等）を開催しており、薫風の菊池川、裏川の辺りでは多くの方が憩いのひとときを楽しんでいる。</p> <p>また、河川清掃だけでなく、商店街の空き店舗を利用した「談義所」を設けて地域のコミュニティセンターとして交流の場を提供し、水環境をはじめとした学習会を行って地域の美化啓発に努めている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>とくていひえいりかつどうほうじん はな 特定非営利活動法人 花つぼみ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>和歌山県田辺市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 古守 一晶</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同団体は、空き地に花を植えて地域の環境を少しでも良くし、潤いのある風景を作ろうとの考えから発足した。最初は、少数のグループで近所の広場に四季の花を植えて人々の目を楽しませていたが、「花いっぱい運動」や「花まつり」などのアイデアがこの運動から生まれ、これらの行事に会員だけに止まらず子供会や老人クラブ、事業所、町内会などが参加し市民ぐるみの運動として定着してきた。</p> <p>また、平成13年3月より国土交通省のボランティアサポートプログラムへ参加し、現在、国土交通省や田辺市役所の協力を得ながら、同団体のもと28団体480名が、地域の学校や沿道沿いの事業所などの地域住民の参加を得て、国道沿いの空き地等を利用して花いっぱい運動を展開するとともに、会員が毎日手入れを行っている。</p> <p>これらの取組により、花づくりに参加して汗を流し、花のある風景を楽しむ心の余裕が周囲の環境を大切にすることに育ち、空き地の除草や空き缶、ゴミの清掃などに目が向くなど市民意識の高揚につながっている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>はしのしんりんあいごしょうねんだん 橋野森林愛護少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県釜石市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>団 長 菊池 正浩</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、緑の愛護活動を通じて地域社会に奉仕することを目的とし、昭和62年に橋野小中学校生徒児童をメンバーとして設立された。森林育成活動の実践は、橋野小中学校自体の活動として昭和20年代から脈々と受け継がれてきたものである。</p> <p>今日、少年団は、森林育成への直接的な貢献ばかりではなく、次代を担う少年少女の環境を保全する資質と能力を養おうという高邁な理念の下、生徒、父兄、地域住民一体の協力体制のもと運営されている。</p> <p>活動として、3つの学校林での枝打ち、下草刈り及びどんぐりから自宅で栽培したミズナラ苗の植栽などの森林育成を行うとともに、山・川・道路の清掃美化活動を行っている。</p> <p>また、町へ繰り出しての緑の募金のほか、酸性雨の調査、河川の水質・生物調査、野鳥の観察といった研究活動と成果の発表も行っている。</p> <p>さらに、地場産業と森林のかかわりを知るシイタケ栽培を行うとともに、売上を福祉施設へ寄付するなど幅広い活動を実践している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>いなさちょうりつしぶかわしょうがっこう 引佐町立渋川小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>静岡県引佐郡引佐町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 森下 泰宏</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、「花いっぱい活動を通して、明るく潤いのある学校を目指すとともに、花を愛する心や生き物を慈しむ心、さらには地域を愛する心を育てたり、責任感を培ったりする」ことを目標に、「花いっぱい活動」を学校だけでなく地域全体へ広げるよう取り組んでいる。</p> <p>同校では、毎週水曜日の朝、「花いっぱい活動」の時間を設定し、花壇の管理や苗づくりを全校生徒で行うとともに、一人一鉢栽培や学級花壇づくりにも取り組んでいる。児童は活動を通じて経験を積みながら自分が高学年になると自然に低学年に教えるようになっている。</p> <p>また、行事等で来校した保護者や地域の方に学校で採種した種子や苗を配付したり、「学校から地域へ花の輪を広げよう」をスローガンに、地元の公共施設等に苗を贈っている。</p> <p>さらに、特別養護老人ホーム内に学校花壇を設置し施設の方々との交流を図ったり、校区内にある地区花壇の管理に親子で取り組むなど、地域へ「花いっぱい活動」を広げている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>おかざきしりつやはぎにししょうがっこう 岡崎市立矢作西小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県岡崎市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 上川 清玄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和48年より学校と地域が一体となって計画的に学校環境緑化事業に取り組んでいる。</p> <p>第4次計画（H.4-H.7）、第5次計画（H.8-）を順次策定し、児童・教職員はもちろんのこと家庭や地域住民の協力を得て更なる緑豊かな学習環境の拡充に努めている。</p> <p>また、この環境整備と並行して平成3年度より「生き生きと活動できる心豊かな子の育成」を、平成12年度から「自然や人に進んでかかわっていく感性豊かな子の育成」を研究主題に掲げ、緑豊かな環境を活用し多彩な教育活動を現在展開中である。</p> <p>さらに、同校の緑化活動は校内に留まらず児童が育てた苗や苗木を親子で学区に植える活動や河川美化活動を展開するなど、地域の環境緑化推進・美化活動に大いに貢献している。</p> <p>そのほか、地域の人材を発掘し臨時講師として招いて様々な幅広い分野の講義をお願いしていることから、地域と学校の一体感が生まれ今や同校は地域緑化の拠点とも言える存在となっている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>おきなわけんりつやえやまようごがっこう 沖縄県立八重山養護学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>沖縄県石垣市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 長嶺 安三</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、岩盤、排水不良等の厳しい条件を克服し校庭を蝶が舞い野鳥のさえずる緑豊かな校庭にすべく、『校内緑化のマスタープラン』を作成し、それに基づいて「創立之五木」と「植樹の精神」を定めて、児童・生徒並びに教職員及び父母が一丸となって環境緑化を推進してきた。</p> <p>高等部や中学部の生徒たちは、校庭の落ち葉を集めて腐葉土をつくり、草花や花木（ブーゲンビレア）を栽培して近隣の小・中学校に配布したり、県や市の諸行事等の装飾を担当し、地域から高い評価を受けている。また、小学部の生活単元学習では、木陰に設営された遊具で児童たちがのびのびと活動するなど、緑の教育効果は大きい。</p> <p>さらに、地域に根ざした緑化活動として平成13年4月の石垣島トライアスロン大会では、道路沿いにサルビア、マリーゴールドを定植するボランティア美化作業を行ったり、11月の産業まつりには、高等部が参加し、日頃の作業学習で育てた野菜や草花のポット苗、観用植物やブーゲンビレア等の鉢物を販売した。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>ちばけんりつもばらのうぎょうこうとうがっこう 千葉県立茂原農業高等学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>千葉県茂原市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 丸 豊</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、明治30年に千葉市に開設された県立の農学校を前身とし、明治32年に茂原市に移転し、千葉県農学校と改称した。</p> <p>当校には、林業科はないが、明治43年に国有林の払い下げを受けた約15haの演習林があり、全校あげて学校林としての活用を図っている。</p> <p>昭和52年頃からの松くい虫の被害や平成8年9月22日の台風17号による被害に対する復旧を契機に、全校生徒が1年に最低1度は入山し作業することを22年間にわたって実践継続し、森林保護思想の高揚に大きな成果を上げ現在に至っている。</p> <p>また、竹林の急激な繁茂が社会問題化されはじめた平成10年度からは、竹林整備にいち早く取り組み、跡地を多様な森林へ誘導するため、ブナやヒノキの植栽を実施している。</p> <p>さらに、他校生徒との交流や保護者（PTA）、地域住民等に対し、生徒や職員、外部講師などの派遣も含め、学校演習林への理解と自然保護・保全の学習会など貴重な体験学習の場として提供するなど、積極的に演習林活動を実践している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>にしなすのちょうりつおおやましょうがっこう 西那須野町立大山小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>栃木県那須郡西那須野町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 大谷 嘉兵衛</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、栃木県の北部、穏やかな傾斜をもつ台地である西那須野町に位置し、かつて明治時代に開かれた大山牧場の雑木林で、長年育ったアカマツやコナラを残して昭和52年に設立された。開校以来、校内の林を「学校自然林」として愛着を持って接しており、児童を中心に教職員やP T A、地域のボランティアが一体となって守り育んできた。</p> <p>学校林を児童や教職員だけではなく、P T Aや地域住民の積極的な協力の下、良好な維持管理を行っており、様々な活動の拠点として活用している。事例として、生活科や総合的な学習をはじめ、学校林を児童のさまざまな学習フィールドとして活用しているほかに、地域住民による那須野が原地域の環境学習や、町全体の教職員による体験活動などに活用されてきた。</p> <p>ほかにも、5、6年生で緑の少年団を結成し、学校林を始め学校環境の緑化活動で活躍するとともに、他校の緑の少年団との交流への積極的な取組、福祉施設の方と学校林等を通して交流するなど、地域の緑化推進運動に貢献している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>みやぎけんこごたのうりんこうとうがっこう 宮城県小牛田農林高等学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>宮城県遠田郡小牛田町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 荒 伸二</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、明治45(1912)年に宮城県の仙台平野北部の丘陵地に学校林を設定して以来、生徒・教職員を中心に植林や保育作業を継続し、荒廃した里山に優れた森林を再生させた。今日までの植林面積の累計は約100haに及ぶ。</p> <p>また、多様な森林づくりを早くから実践し、県内の他地域では見られない高林齢のホオノキ、ケヤキ、クヌギ等の広葉樹人工林やモミ、コウヤマキ等の針葉樹人工林を成林させている。このほか育林方法の検証やスギ林間伐後の広葉樹発生状況を観察するための試験林等を設定しており、多様な森林整備が今日的課題となっているなか、林業家や林業技術者のみならず、一般市民にも森林づくりの技術や植林後の経過などの貴重な情報と示唆を与えている。</p> <p>さらに、平成9年度からは、より地域に開かれた学校林を目指して、学校林を活用した開放講座を始めている。平成13年度には、学校林の観察会、炭焼体験、しいたけ栽培体験、雑木林の除伐など17講座を開催し、小・中学生、親子、一般成人、小学校教諭など、約800人の参加を得ている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>むつみ^{そんりつ}村立むつみ^{ちゅうがっこう}中 学 校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山口県阿武郡むつみ村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 溝部 俊一</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校では、平成7年から学校林活動を通して、森林・林業について学ぶことを目的とした「森の教室」を地域の林業関係者の協力を得て実施し、森林の役割についての学習や松茸の発生環境を整えるための森林整備を行っている。</p> <p>平成5年から、大阪の姉妹校や交流校との交流を深めており、姉妹校や交流校が修学旅行で来校した際、農林業を正しく理解し関心を高めることを目的とした「農林業体験学習」を実施している。林業コースでは、地元の林業振興会員の指導のもと、生徒が植樹や枝打ち、間伐を体験している。</p> <p>また、山口県花いっぱいコンクールへ参加し、花壇緑化による地域環境緑化を行っている。</p> <p>さらに、学校林のほかにも学校の裏山などを「ふれあいの森」「教育の森」「交流の森」として整備し、生徒達は日頃から森に親しんでいる。維持管理については地元林業関係者の協力を得ている。</p> <p>このように、学校林整備などの多様な活動を通じて、林業についての学習や体験を実施し、自然に感謝する心及び郷土を愛する心の育成に努めている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>えさしちょう 江 差 町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>北海道檜山郡江差町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 濱谷 一治</p>
<p>功績の概要</p>	<p>北海道南西部に位置する同町は、町民が身近な緑と自然に親しむ場を創出するため、昭和50年から52年にかけて同町北部に所在する逆川（さかさがわ）ダム周辺に「江差町逆川森林公園」を整備した。</p> <p>このことを契機に平成5年度までの間に同公園において毎年記念植樹を行い、サクラを主に約600本の植栽を行った。</p> <p>また、平成8年度からは、毎年「町民植樹祭」を開催し、広く町民の郷土緑化意識の高揚と定着に努めるとともに、平成10年度までの3か年で「豊かな森林づくり事業」として、馬場山地区に四季の花々や果樹園、野鳥観察施設を整備した「町民の森」を平成11年度に開園し、広く町民に緑とのふれあいの場を提供して緑化活動の推進に努めている。</p> <p>そのほかに、同地域の名称の由来となる、檜山地域に特産するヒノキアスナロの復活事業等による緑化運動として、各自治会や町内の団体による植樹活動も実施されており、地域緑化推進運動を行政機関と住民の協力の下に続けている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>かくだしにしねよんくぎょうせいく 角田市西根4区行政区</p>
<p>所 在 地</p>	<p>宮城県角田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>行政区長 金澤 賢道</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同行政区は、平成2年から、現区長の発案で区民の融和と潤いのある地区の形成をめざし、地区内で花壇作り等を行う「花いっぱい運動」に取り組んでいる。平成2年当初、440本から始まった植栽数は、現在約1万7千本に増加し、市道路側帯の空き地には区内13か所に延べ約1.9kmの花壇を形成している。13か所の花壇は「道端ふれあい花壇」と名付けられ、パンジー・サルビア・マリーゴールド・葉ぼたんなど十数品目の四季の花が見事に咲き誇る。</p> <p>苗の定植作業では、地区内の約3分の1にあたる39人が作業を行っており、かん水や花がら摘みなどの管理作業は区内を4班に分け、合計17名の区民により管理している。播種・育苗作業などは子供を含めた家族による作業も行われ、世代を超えた地域内の人々の交流と情操教育にも貢献している。</p> <p>また、平成2年から西根地区内の13行政区では毎年、花壇コンクールを実施しており、それぞれの区で、競い合ってコンクールに参加し、コンクールを通じて、行政区間の交流を図っている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>たけふし 武生市</p>
<p>所在地</p>	<p>福井県武生市</p>
<p>代表者</p>	<p>市長 三木 勅男</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、昭和27年から開催されている「たけふ菊人形」や菊の栽培で知られている都市で、平成3年に、天皇皇后両陛下をお迎えして「国際菊サミット」を開催することをきっかけに、花のまちづくり運動「菊トピア事業」を開始した。同事業は①菊をはじめとする花のまちづくり、②菊人形の振興、③菊をテーマとした産業と観光の開発を3本柱とした事業である。</p> <p>その一環として、毎年「花のまちづくりコンクール」を開催しており、毎年、50～60団体の応募がある。個人、団体、学校、企業の4部門毎に最優秀賞、優秀賞、優良賞等を授与している。</p> <p>また、歴史と伝統ある「たけふ菊人形」事業を花のまちづくりの原点として、花のまちづくり市民運動を展開し、市民にもっと菊に親しんでもらうため平成10年に万葉菊花園をオープンした。</p> <p>この他、「たけふ花と緑の会」と協働により、地区への緑花活動や新規花壇造成に対する助成、記念樹の配布や講習会など、幅広く緑花活動の普及、啓発及び促進を行っている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>なごやし 名古屋市</p>
<p>所在地</p>	<p>愛知県名古屋市</p>
<p>代表者</p>	<p>市長 松原 武久</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、平成2年「名古屋市都市緑化推進計画」を、平成13年には「名古屋市みどりの基本計画」を策定し、花水緑を生かしたまちづくりを市民とすすめることによって「ガーデンシティー」の形成をめざし、引き続き緑化に係る取組を実施している。</p> <p>緑化活動に係る取組として、「緑化功労者表彰」の実施や「ガーデニングフェスティバル」の開催、地域の「花いっぱい運動」の推進をはじめ、「ふれあいます花壇」事業として街路樹の植えます内に花壇を設置し、市民参加による花づくり等の推進を図っている。</p> <p>また、市街地の良好な環境を確保するため、相当規模の一団の土地等の所有者が、お互いの合意で締結する「緑地協定」や「緑と花の協定」、一定の地域を市民と市の協働で緑化する「緑化地区」の指定等を積極的に推進している。</p> <p>さらに平成14年度から、道路及び沿道空間を市民と市が協働で緑化する「グリーンウェイ事業」や「緑化推進条例の全面改正」、民有地の緑化を推進する「名古屋緑化基金事業」において、屋上緑化等の建物緑化に対する助成事業に取り組んでいる。</p>